

QuickPrimer IpaH 遺伝子

Code No. MR103

容量： 100 回

(20 μ l 反応系)

濃度： 2.0 μ M each

本製品は必ず TB Green® *Premix Ex Taq*™ (Tli RNaseH Plus) (製品コード RR420S/A/B) と組み合わせてご使用ください。使用方法については、取扱説明書をご確認ください。

● 検出対象遺伝子 細胞侵入性因子 IpaH 遺伝子

● 内容 Primer Mix (5 ×)
Forward Primer および Reverse Primer

● 形状 TE 溶液

● 保存 -20℃

● 製品説明

本製品は、TB Green *Premix Ex Taq* (Tli RNaseH Plus) (製品コード RR420S/A/B) に最適化された細胞侵入性因子 IpaH 遺伝子検出用のリアルタイム PCR プライマーである。

増幅曲線より得られた Ct 値、および融解曲線分析より得られた Tm 値が、判定基準に一致するかどうかで目的遺伝子の検出の判定を行う。

● 判定基準

1. 増幅曲線より得られた Ct 値が 35 より小さい。
2. 融解曲線のパターンが陽性コントロール DNA (10 倍希釈液) を用いた場合と同じパターンを示す。
陽性コントロール DNA : QuickPrimer Control DNA 1 (製品コード MR401)
3. 融解曲線分析より得られた Tm 値が、陽性コントロール DNA (10 倍希釈液) の Tm 値 $\pm 1.5^\circ\text{C}$ の幅に含まれる。

1 ~ 3 が満たされた時、陽性と判断する。

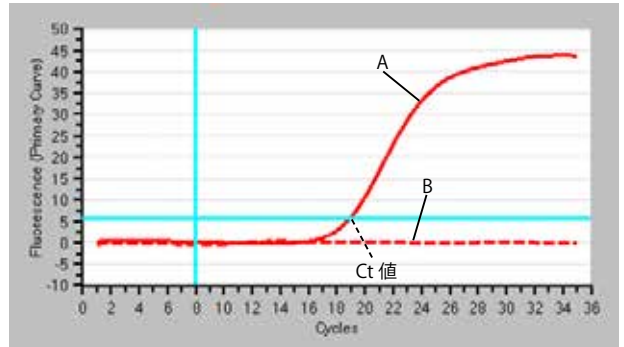
※ 精製ゲノム DNA 10 pg ~ 100 ng を用いた場合、上記の判定で陽性になることを確認している。

● 増幅鎖長 117 bp

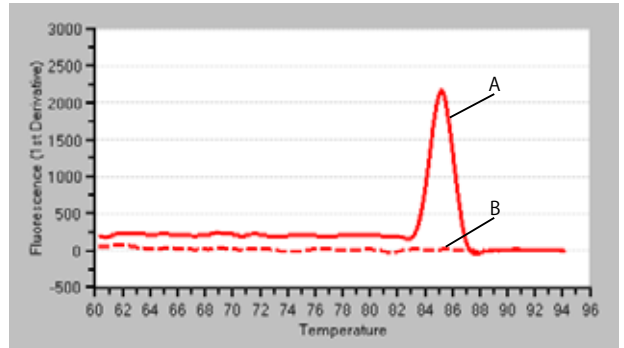
● 注意事項

- ・最終的な結果判定については、遺伝子検査だけではなく、培養検査などの他の微生物検出方法の結果とも照らし合わせて、総合的に判定されることをお勧めします。
- ・使用方法および注意事項等の詳細は、取扱説明書をご確認ください。

増幅曲線



融解曲線 (1st Derivative)



Thermal Cycler Dice® Real Time System での解析例

A : 陽性コントロール DNA

B : 陰性コントロール (滅菌精製水)

TB Green、Thermal Cycler Dice はタカラバイオ株式会社の登録商標です。
Premix Ex Taq はタカラバイオ株式会社の商標です。

● 注意

本製品は食品分析および環境分析用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。検査結果判定により発生する問題に関してタカラバイオ株式会社は一切の責任を負いません。

タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。

ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。

v201903

タカラバイオ株式会社

ウェブサイト <http://www.takara-bio.co.jp>

製品についての技術的なお問い合わせ先

テクニカルサポートライン

Tel 077-565-6999

Fax 077-565-6995

QuickPrimer IpaH 遺伝子

● 検出確認リスト

本検出リストは、岐阜大学大学院 医学系研究科病原体制御学分野 教授 江崎孝行先生にご提供いただいたデータを元に作成しています。

※本データは、1 ng/assay での検討結果です。

d:(x/y) : 陽性率 ND : not determined (T): Type strain

病原体 (ラテン語名)	Quick Primer							
	MR201	MR101	MR102	MR103	MR104	MR105	MR106	MR107
	16S rDNA	InvE	IpaB	IpaH	Shiga I (VTI)	Shiga II (VTII)	LT	STI
<i>Escherichia coli</i> GTC 503(T)	+	-	-	-	-	-	-	-
Enterohemorrhagic <i>E. coli</i> GTC 1059 (Shiga I 産生株)	+	-	-	-	+	-	-	-
Enterohemorrhagic <i>E. coli</i> GTC 1060 (Shiga II 産生株)	+	-	-	-	-	+	-	-
Enterotoxigenic <i>E. coli</i> GTC 1065 (ST 産生株)	+	-	-	-	-	-	-	+
Enterotoxigenic <i>E. coli</i> GTC 1066 (LT 産生株)	+	-	-	-	-	-	+	-
Enteroinvasive <i>E. coli</i> GTC 1932 (腸管侵入性大腸菌)	+	+	+	+	-	-	-	-
Enteroinvasive <i>E. coli</i> GTC 1911 (腸管侵入性大腸菌)	+	+	+	+	-	-	-	-
Enteraggregative <i>E. coli</i> GTC 14232	+	-	-	-	-	-	-	-
Enteropathogenic <i>E. coli</i> GTC 14264	+	-	-	-	-	-	-	-
<i>Escherichia fergusonii</i> GTC 1162 (T)	+	-	-	-	-	-	-	-
<i>Escherichia blattae</i> GTC 1162 (T)	+	-	-	-	-	-	-	-
<i>Escherichia vulneris</i> GTC 1162 (T)	+	-	-	-	-	-	-	-
<i>Escherichia hermanii</i> GTC 347 (T)	+	-	-	-	-	-	-	-
<i>Shigella dysenteriae</i> serovar O1 GTC 786 (T)	+	+	+	+	+	-	-	-
<i>Shigella flexneri</i> GTC 780 (T)	+	+	+	+	-	-	-	-
<i>Shigella sonnei</i> GTC 781 (T)	+	+	+	+	-	-	-	-
<i>Shigella boydii</i> GTC 779 (T)	+	+	+	+	-	-	-	-
<i>Klebsiella oxytoca</i> GTC 108 (T)	+	-	-	-	-	-	-	-
<i>Plesiomonas shigelloides</i> GTC 410 (T)	+	-	-	-	-	-	-	-
<i>Proteus inconstans</i> GTC 9551 (T)	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Proteus mirabilis</i> GTC 1262 (T)	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Proteus morgani</i> GTC 115	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Proteus penneri</i> GTC 349 (T)	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Proteus vulgaris</i> GTC 134 (T)	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Providentia alcaligenes</i> GTC 2022 (T)	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Providentia stuartii</i> GTC 1722 (T)	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Serratia liquefaciens</i> GTC 3871 (T)	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Serratia marcescens</i> ATCC 13880	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Serratia odorifera</i> GTC 1344 (T)	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Serratia rubidaea</i> GTC 136	-	-	-	-	-	-	-	-

※ QuickPrimer *Escherichia / Shigella* group (16S rDNA) (製品コード MR201) は、腸内細菌科の一部の類縁種を増幅する可能性があります。

<ご注意>

本データは、TB Green *Premix Ex Taq* (Tli RNaseH Plus) の旧バージョン (製品コード RR041A/B、販売終了) を用いて確認しています。